

---

# 放課後。

マライ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】  
放課後。

【コード】  
N4670J

【作者名】  
マライ

【あらすじ】  
やっぱり、放課後っていいよね。

**(前書き)**

十五分作成シリーズ第四弾。

前回到引き続き内容は適当です。

「やっぱり放課後の時間って言うのは最高だな。」

「いきなり何言ってるんだ？」

「ほらさ、なんと言うか、授業の呪縛から解放された獣の気分。」

「聞いてねえよ。大体授業の呪縛がついてる獣なんていねえよ。」

「それはそうと、俺今日の小テスト6点だった。」

「話変わりすぎだろ。てゆうか6点で低すぎだろ。」

「いや、50点満点中だし。」

「何基準で点数暴露してんだ？半分も取れてねえぞ。」

「50点満点中で、6点だ。」

「だから？」

「あんまりすごくないな。」

「いや今言ったじゃん。」

「てゆうか、もう5時か。見回りに見つかる前に抜け出そう。」

「何その脱獄囚みたいな発言。」

「おいおいマイケル。ピーナッツは置いていけよ。」

「持ってねえよ！！大体マイケルって誰！？」

「帰りコンビニ寄ってごうぜ。」

「ん。いいけど。」

「そついやあ、某セブンイレブンの名前の由来って知ってるか？」

「某付けてる意味無いし。知らないけど？」

「その昔、営業時間が朝7時から午前11時までだったらしい。」

「短っ！しかも午前中かよ！」

「後に客の声により営業時間が午後になったらしい。」

「せめて朝7時から夜の11時までって言う考えは出なかったのか。」

「そしていつの日からか一日中労働する制度になったらしい。」

「ちょっと信憑性がないな。でもいいや。とりあえずついたぞ。」

「おお、セブンイレブン！」

「いや、コンビニファミマだし。」

(後書き)

次あたり連載書いてみたいなー。

と、調子に乗る。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4670j/>

---

放課後。

2010年10月11日10時54分発行